

令和4年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（114） 学校名 豊田市立逢妻中学校

1 テーマ

「人とのかかわりの中で生徒を育てる」
～様々な人とのかかわりを通して校訓を具現する～

2 ねらい

本校は、校訓「至誠、知性、活力」のもと、「誇れる逢妻」をスローガンに掲げ、活気・規律・感動のある学校づくりをめざしている。大規模校であるものの、活気と温かみのある落ち着いた学校になってきている。しかし、新型コロナウイルス感染症対策のために、様々な制約をしなくてはいけない中、新しい生活様式を考え、「特色ある学校づくりの推進」を継続してきたことにより、集団生活をしていく中での人間関係の正常化が進んでいる。

そこで、今まで以上に生徒一人一人が安心して学校生活を営んでいくために、「人は人の中で育つ」という視点を軸にした「人とのかかわりを大切にした教育」の継続が、本校の教育活動には不可欠と考える。様々な取組の中で体験的な活動の質を高めることも重視したい。中でも、講師の招聘や他団体との心のつながりを重視した活動は、今年も継続して実践していく。具体的には、各学年の総合的な学習（A・T=逢妻タイム）で、地域との交流を一層充実させることにより、さらに前向きで落ち着きのある生徒を育成する。

3 活動内容

- (1) キャリア教育などに関して、専門的な知識や経験をもった地域の方々の話を伺う機会を設定し、自己の生き方、将来の夢や職業、働くことの意義についての考えを深める。
- (2) 各種体験活動の支援や指導を地域の専門家に依頼し、ものづくりの楽しさや人とのかかわり合いを深めたり、自己の伸張に役立てたりする。
- (3) 自分とは立場の異なる職業人、障がいのある人、地域の人々等の交流を通して、ものの見方や考え方、社会性を学ぶことにより、人とのかかわりの大切さを学ぶ。

4 成果と課題

(1) 成果

新型コロナウイルス感染症予防のため、さまざまな活動が制限された。特に、特別支援学校との交流活動については、新しい生活様式をふまえて、生徒たちに考えさせ、ZOOMでの交流を企画した。今年度は、昨年度の反省をもとに、すべての学級が、特別支援が校との交流を行う形式を考えた。また、特別支援学校の教諭に来校していただき、話を聞いたり、ゲームづくりのアドバイスを受けたりした。ZOOM交流会も当日中止となってしまったが、後日生徒たちが作ったゲームを特別支援学校の生徒が行っている様子をビデオ映像で見るなど、活動のまとめを行った。

特別支援学級は農作業の活動を通して、お互いに声を掛け合って作業をしたり、近所の方に声をかけてもらったりするなど、周りの人とのつながりを深めた活動となつた。

これらの活動を通して、前向きで温かい生徒が多くなってきた。生徒による地域でのボランティア活動の募集で、常に定員を上回る希望者が出るなど、「逢妻が好きで地域のために何かしたい」という気持ちが様々な場面で表れていることは、本活動の成果といえる。

(2) 課題

豊田特別支援学校の先生に、事前に指導を受けることで、生徒たちのイメージを膨らませることができた。しかしながら、ZOOM 等でもできるだけお互いに話すことで相手のことを気遣ったり、思いやったりする心が育っていくこともあると考える。来年度は引き続きこれらの活動を推進していきたい。

(3) 補助員を配置したことによる成果

心の相談員の配置時間数を昨年度と同数維持したことで安心して学校へ通うことができる生徒も増えてきている。また、校内整備員の配置継続により校内の環境整備が維持され、来校者からは「校内がよく整備されていますね」「花がきれいに咲いていて気持ちがいいですね」等の声をいただいている。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- 各学年の取組について、学校ホームページ（毎日更新）や学校だより（逢中だより）でその都度紹介した。（不定期）